

1. 次の英文を読み、**A-1** から **A-5** までの設問に答えなさい。解答は、それぞれの設問に対応する選択肢の 1 から 3 までの中から答えとして最も適切なものを一つずつ選び、その番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

The decommissioned icebreaker Shirase was handed over to its new owner, the forecasting company Weathernews Inc., after 25 years of service supporting Japan's Antarctic expeditions. The vessel will go on display in Tokyo Bay at the port of Funabashi in Chiba Prefecture in early May. Its successor, also named the Shirase, is participating in the current Antarctic expedition.

Weathernews is planning to hold various events on such topics as climate change and other environmental issues aboard the ship.

"We'd like to designate the ship as a symbol of global thinking on the environment," Hiroyoshi Ishibashi, president of Weathernews, said in a handover ceremony at the Maritime Self-Defense Force's Yokosuka base in Kanagawa Prefecture.

As Japan's third icebreaker, following the Soya and the Fuji, the venerable 11,600-ton vessel carried about 1,400 expedition members to Antarctica in 25 expeditions starting in 1983.

After it was decommissioned in 2008, candidates applied to purchase the vessel but a deal was not struck at that time due to disagreements over the price.

The government decided in October 2008 to scrap the vessel.

Potential buyers were then sought again last summer partly because of falls in metal prices as well as public calls for its preservation.

(注) decommissioned 退役した

(設問)

**A-1** 退役した砕氷艦「しらせ」はこれまでどんなことをしてきたか。

1. 日本の南極探検を初めて支援した。
2. 25 年間、日本の南極探検の支援活動を行った。
3. 気象情報会社ウエザーニュースの業務を引き受け南極の気象を観測した。

**A-2** ウエザーニュース社は、「しらせ」をどのように活用しようと考えているか。

1. 気象変動や環境問題を解決する場とすること。
2. 多くの人たちに「しらせ」の過去の業績を知ってもらう場とすること。
3. 船内で気象変動や環境問題についての行事を行い、これらについて考える象徴の場とすること。

**A-3** 南極探検に従事した二代目の砕氷艦は何か。

1. 「宗谷」
2. 「ふじ」
3. 初代「しらせ」

**A-4** 2008 年に退役した「しらせ」が売りに出されたとき、不調に終わったのはなぜか。

1. 買い手と政府が価格の面で折り合いがつかなかったから。
2. 買い手が現れなかったから。
3. 政府の方針に変更があったから。

**A-5** 政府は、一度「しらせ」をスクラップにすることを決定したが、実行しなかった理由は何か。

1. 買い手が数多く現れたから。
2. 国内の景気が上向き、政府に財政的余裕が出てきたから。
3. 金属の価格の下落と保存を要望する世論の高まりなどがあったから。

2. 次の A-6 から A-9 までの英文は、海上移動業務に関する国際文書の規定に沿って述べたものである。この英文を読み、それに続く設問に答えなさい。解答は、それぞれの設問に対応する選択肢の 1 から 3 までの中から答えとして最も適切なものを一つずつ選び、その番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

**A-6** On receiving a safety message, the radio operator on watch should note its content and act in accordance with the master's instructions.

(注) content 内容

(設問) 当直の無線通信士が安全通報を受信したとき、どのような行動をとるべきか。

1. 雇い主に情報を提供し、その指示に従って行動する。
2. すべての安全通報に責任を持ち、それに応答する。
3. 安全通報の内容に留意するとともに、船長の指示に基づいて行動する。

**A-7** There shall be available at all times, while the ship is at sea, a supply of electrical energy sufficient to operate the radio installations and to charge any batteries used as part of a reserve source or sources of energy for the radio installations.

(注) electric energy 電力 installation 設備 reserve source 補助電源

(設問) 無線設備の操作及びバッテリーを充電するためには、何が必要か。

1. 十分な電力
2. 無線設備等を操作するために必要な十分な知識
3. 緊急時に供給できる強力な補助電源

**A-8** Radio stations shall be obliged to accept, with absolute priority, distress calls and messages regardless of their origin, to reply in the same manner to such messages, and immediately to take such action in regard thereto as may be required.

(注) origin 発信元 manner 方法 in regard thereto その点に関して

(設問) 無線局が遭難呼出し及び通報を受信したとき、何をすべきか。

1. これらの呼出し及び通報に応答し、必要があれば直ちに必要な措置をとる。
2. これらの呼出し及び通報を最優先にすべきかどうかを判断する。
3. 遭難呼出し及び通報がどこから発信されたかを調べる。

**A-9** Vessels making a distress alert relay or a distress call relay should ensure that a suitable coast station or rescue coordination center is informed of any distress communications previously exchanged.

(設問) 遭難警報の中継又は遭難呼出しの中継を行う船舶は、何をしなければならないか。

1. これまでに交換された遭難通信のすべての情報を、適切な海岸局又は救助調整本部から受けられるよう準備する。
2. これまでに交換されたいかなる遭難通信についても、適切な海岸局又は救助調整本部に情報を提供する。
3. 遭難通信についてのすべての情報の開示を、適切な海岸局又は救助調整本部に求める。

3. 次の設問 B-1 の日本語に対応する英訳文の空欄（ア）から（オ）までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

（設問）

B-1

A：この港でおみやげに何を買うの。

B：まだ何を買うか決めてないけど、この町の名産品を買いたいな。

A：それはいいですね。わたしも、そうしよう。

A：What presents will you buy in this port?

B：I have not（ア）（イ）but（ウ）like to buy one of the local（エ）.

A：That's a good（オ）. I think I'll do the same.

- |              |          |            |                |
|--------------|----------|------------|----------------|
| 1. decided   | 2. idea  | 3. noticed | 4. specialties |
| 5. meanwhile | 6. would | 7. yet     |                |

4. 次の設問 B-2 の日本語に対応する英訳文の空欄（ア）から（オ）までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

（設問）

- B-2 私は、三浦丸の船舶局を繰り返し呼び出しているが応答がない。恐らく、三浦丸の受信機が故障しているのだろう。

I have been（ア）to call the ship station of Miura Maru but am not（イ）any（ウ）. Perhaps its receiver（エ）out of（オ）.

- |                   |            |           |          |
|-------------------|------------|-----------|----------|
| 1. correspondence | 2. getting | 3. is     | 4. order |
| 5. reply          | 6. run     | 7. trying |          |

5. 次の設問 B-3 の日本語に対応する英訳文の空欄（ア）から（オ）までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

（設問）

- B-3 海上移動業務においては、周波数 490kHz は、海岸局が狭帯域直接印刷電信により、船舶に対して気象警報、航行警報及び緊急情報を送信するためにのみ使用される。

In the maritime mobile（ア）, the frequency 490 kHz is（イ）exclusively for the transmission（ウ）coast stations of meteorological and navigational warnings and（エ）information to ships by（オ）of narrow-band direct-printing telegraphy.

- |           |          |            |            |
|-----------|----------|------------|------------|
| 1. by     | 2. means | 3. serious | 4. service |
| 5. urgent | 6. used  | 7. using   |            |